

# 2022年度 第1回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2022年 5月13日（金）12:58 ~ 16:53

会 場：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 17名、出席監事数 2名（白石雅一 監事、津田文雄 監事）

リアル出席：金子会長、山口副会長、横山副会長、小田島副会長、小俣副会長、下村理事、黒石理事、谷川理事、北島理事、松本理事、石川理事、中島理事、廣瀬理事、野原理事、野元専務、小見常務

WEB出席：雨宮理事、白石監事、津田監事（各事務所からWEB出席）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

## 会長挨拶骨子

・新年度を迎えた。保険会社各社の人事異動は一段落し、来月からは各代協の総会が開催される予定である。新型コロナウイルスの感染者は減少傾向にあったが、ここにきて増加に転じており、リアル集合形式の総会開催を企画している代協の負荷は大きくなるが、細心の感染対策を行い、運営いただきたい。また、6月の総会で任期満了となる私の代行として各代協の総会に参加いただく理事の方々には、感謝申し上げるとともに、改めて「熱い思いの伝達」をお願いする。

< 3/10 理事会以降の業務報告 >

・4/5、あいおいニッセイ同和社の新納新社長が挨拶のため来会され、面談した。旧知の関係でもあり、信頼関係をさらに強化していきたい。

・5/12、損保労連幹部との意見交換会を3年ぶりにリアル集合（5名はWeb参加）で開催した。特定修理業者対策ならびにDXの活用の2つのテーマについて意見交換した。損保労連側8名、日本代協側14名で開催し、リアル参加者は、入室前に抗原検査による陰性確認を行い、開催した。

・4/28、金融庁との意見交換会を実施したが、現場にいた私は大変情けない思いをした。保険課長と2時間にわたる意見交換ができることの意味合いを再確認いただきたい。“ながら参加”や特異な背景設定など、当局の課長との意見交換に臨む姿勢が欠如している。コンベンションの来賓挨拶時の会場参加者の私語の問題と同様に、団体の品位が問われることになり、意見交換会の継続開催の支障となる。開催を継続していくためには、この点の改善は不可欠と考えている。また、内容についても、一部に情報確認が十分でない状態での質問もあり、日頃の情報連携にも課題があることを痛感した。

本日は、現メンバーで最後の理事会となる。組織のさらなる活性化を目指し、闊達な論議をお願いする。

## 〔審議事項〕

1. 2022年6月開催の2022年度通常総会の開催形式・日程・運営・付議事項等の審議  
・会長より、資料に基づき、2022年6月開催の2022年度通常総会の(1)開催形式、(2)日程、  
(3)運営、(4)付議事項について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

#### (1) 開催形式

リアル集合形式での開催とする。(感染対策を徹底し、入場の際は抗原検査を行い、陰性を確認できた会員が入場できる仕組みとする。なお、今後の感染者急増の場合は、ハイブリッドバーチャル出席型形式に変更することもあるため、事前の議決権行使を協力を依頼する。)

#### (2) 日程

開催日 2022年6月14日(火)  
会場 損保会館 2F 大会議室(東京都千代田区神田淡路町2-9)  
日程 10:00~ 通常総会  
12:30~13:30 政連臨時代議員会  
13:30~16:30 全国会長懇談会  
16:45~18:00 特別セミナー 講師:一般社団法人 日本損害保険協会  
専務理事 岩崎 賢二 様

#### (3) 総会運営

総会議長候補者(1名) 議事録署名人(2名)の選出

- ・議長候補者 三ヶ尻 明広 氏(神奈川県代協会長)
- ・議事録署名人 木下 幸太郎 氏(福井県代協会長)
- 三好 亘 氏(徳島県代協会長)

#### (4) 2022年度通常総会付議事項

- 第1号議案 2021年度(第58期)事業報告案承認の件  
第2号議案 2021年度(第58期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件  
第3号議案 全役員任期満了に伴う役員選任の件

- ・次に付議事項の内容に関する審議について、事務局より、第1号議案から第3号議案について説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。  
通常総会の招集通知は5/23(月)に発送予定である。

### 【決定したこと】

2022年度 通常総会付議事項審議

第1号議案 2021年度(第58期)事業報告案承認の件

1. 2021年度(第58期)事業報告 要旨
2. 代理店・募集人の資質向上
3. 公正な市場環境の構築・提言活動
4. 実効性あるCSR活動の展開
5. 組織力の強化
6. 活力ある代理店制度の構築
7. 広報活動の展開
8. 代協会員への経営支援・情報の提供

9.コンベンション

10.法人運営

付1.～付6.

第2号議案 2021年度(第58期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第3号議案 全役員任期満了に伴う役員選任の件

役員候補者の資格審査に関しては、5月6日(金)に資格審査委員会(歳森委員長、村田委員、占部委員)を開催し、会員名簿及び理事または監事候補者略歴書等を個別に審査し、全候補者が適格であることを確認したとの報告があった。

2022年度 役員候補者

理 事		2022年5月6日現在	
氏 名	(現)日本代協役職	所属代協・所属代協役職	
横山 健一郎	理 事 ・ 副 会 長	埼 玉	理 事
小田島 綾子	理 事 ・ 副 会 長	新 潟	理 事
小 俣 藤 夫	理 事 ・ 副 会 長	山 梨	理事副会長
雨 宮 豊	理 事	神奈川	顧 問
下 村 文 則	理 事	福 井	顧 問
谷 川 明 義	理 事	岡 山	顧 問
北 島 香 代 子	理 事	福 岡	理事相談役
松 本 一 成	理事・企画環境委員長	東 京	理 事
石 川 英 幸	理事・教育委員長	三 重	理事副会長
中 島 克 海	理事・組織委員長	福 岡	理事相談役
山 中 尚	元 理事・ビジョン委員長	大 阪	会 長
佐々木 雅之	-	北 海 道	会 長
小 橋 信 彦	-	京 都	会 長
藤 山 裕 介	-	東 京	理 事
大 城 拓	-	沖 縄	理事副会長
大 和 親 英	-	東 京	理 事
小 見 隆 彦	常 務 理 事		
金 澤 亨	特 命 部 長		

18名

監 事			
氏 名	(現)日本代協役職	所属代協・所属代協役職	
白 石 雅 一	監 事	東 京	
津 田 文 雄	監 事	石 川	監 事

2名

〔資料 審1.〕2021年度通常総会議案案「2021年度事業報告&決算報告案」(P.1-38)

〔追加資料〕資格審査結果の報告(追加資料P.1-2)

2.各委員会委員の選出

・事務局より、資料に基づき、各委員会委員の推薦状況の説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・ブロック推薦(企画環境、教育、組織、CSR)ならびに理事会推薦(広報)の各委員について、承認された。
- ・「委員選出のあり方」は組織運営、組織活性化に大きく関わる問題であるため、まずは全国会長懇談会において、問題提起し、課題を共有することとする。

1. ブロック推薦

\* は新任

ブロック	企画環境委員会		教育委員会		組織委員会		CSR委員会	
	代協	氏名	代協	氏名	代協	氏名	代協	氏名
北海道	北海道	広川 太一	北海道	* 上島 史博	北海道	松田 博和	北海道	池田 壮
北東北	秋 田	* 伊藤 公毅	青 森	* 小向 猛徳	岩 手	* 千葉 文和	秋 田	* 近藤 正
南東北	宮 城	* 佐々木 一元	福 島	赤城 明広	やまがた	* 蘆田 厚子	福 島	* 酒井 達也
上信越	長 野	* 片桐 幸広	群 馬	* 中田 全一	新 潟	* 高橋 貞子	新 潟	* 鈴木 一
東関東	千 葉	* 五木田 厚	茨 城	井上 達也	栃 木	* 四反田 善仁	茨 城	* 河合 貴弘
南関東	山 梨	* 大久保 恵	神奈川	* 鳥山 優志	神奈川	* 豊 純光	神奈川	* 吉野 新吾
東 京	東 京	サイジヨウ タカシ 西條 剛	東 京	雨宮新一郎	東 京	* 佐藤 隆市	東 京	* 小野 和江
東 海	岐 阜	* 井戸 貴之	愛 知	* 市川みさを	静 岡	* 眞木 仁	三 重	* 生川 恭道
北 陸	富 山	* 川尻 守	石 川	* 佐野 修人	福 井	* 河野 渡	富 山	* 三上 茂
近 畿	滋 賀	* 是洞 成孝	京 都	* 木村 浩和	滋 賀	* 高橋 範光	奈 良	* 森井 晋吾
阪 神	大 阪	* 中塔 泰成	大 阪	* 渡辺 太一郎	兵 庫	* 山口 善克	和歌山	西川 秀俊
東中国	島 根	* 阿部 義信	岡 山	* 山田 達彦	鳥 取	* 樹田 久由	岡 山	山田 眞理
西中国	広 島	* 村松 輝昭	広 島	近藤 展弘	広 島	* 松井 英男	山 口	* 田坂 信介
四 国	香 川	開手 昭	愛 媛	* 富永 一隆	高 知	高本 光輝	徳 島	* ソマトモ トモヤ 柚友 智也
九州北	長 崎	* 麓 浩二	長 崎	甲山 智親	福 岡	沖田 徳明	大 分	三浦 文義
九州南	宮 崎	* 新名 良盛	鹿児島	* 中村 康宣	沖 縄	* 下地 雅也	熊 本	植村 敬子

2. 理事会推薦

広報委員会		
北海道・南北東北	*	成田 学
上信越・関東	*	田中 潤
東 京	*	廣田 隆之
東海・北陸	*	土田 泰嗣
近畿・阪神	*	由良 隆行
中国・四国	*	野呂 敏昭
九 州	*	原田登志之

【主な意見等】

- ・今回も各委員会の大半の委員が交代となる。1期2年で交代する委員も多い。  
地域で一定のルールがあり、輪番制や持ち回りとなっているブロックもあるが、委員会活動の活性化という観点からは、「2期4年で各任期では半数位の交代」が望ましいと考える。
- ・各地域の事情や委員会の事情が交錯するところもあるので、委員選出のあり方に関してガイドラインを作り、定着させていくことが肝要と考える。

〔資料 審2.〕2022-2023年度各委員会委員候補リスト（P.39）

3. 委員会関連審議事項（諮問・推進事項に関する答申案）

- ・各委員会委員長から、資料に基づき、2021年度の諮問・推進事項に関する答申の報告があり、審議・採決の結果、今回の結論及び方向性が全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・各委員会からの答申案報告（各委員会資料）の通り、承認された。

【主な意見等】

- ・チャンネル間競争力強化策として、一步踏み出し、「ジギョケイ」、「社労士診断認証」、「RM講座」

などを構築、提供したことは有意義である。周知策の展開に期待する。

- ・コロナ禍の影響によるコンサルティングコース運営の立て直し（代替策の構築・提供、Webセミナーの構築・提供）をやり切った教育委員、支援いただいた各代協役員・委員、事務局に改めて感謝の意を表す。
- ・「各地の組織委員会への日本代協組織委員会正副委員長のWeb参加」は、情報共有と温度差の改善に資する面白い取組みで、6回の組織委員会後の16ブロックの組織委員会への参加を実践し切り、一体感醸成につながった。
- ・一覧表作成など推進状況の見える化の工夫は特筆できる。実態調査において、ぼうさい探検隊の認知度が予想よりかなり低かったことに驚いた。限られた参画者だけでなく、広く周知し、参画者を増やすことに焦点を当てた推進方法を検討いただきたい。
- ・「悩める歴史上の偉人たち」のWebCMはインパクトが強く、視聴回数も大幅に増えている。特設サイトや営業アシスト動画視聴への誘導策や展開策の実施をお願いする。

〔地区別委員会別資料〕 各委員会答申案（地域別委員会別資料P.30-72、追加資料P.3-18）

#### 4. 2021年度の取組みに関する表彰

- ・事務局より、2021年度の取組に関する表彰について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

##### 【決定したこと】

##### (1)表彰金額の基準の改定

基準 :入会目標 + 10店 10万、基準 :入会目標 + 5店 7万、基準 :入会目標 + 2店 5万、  
基準 :目標達成 3万

##### (2)2020年度「仲間づくり推進（代協正会員増強運動）」の表彰

年間入会目標達成代協の表彰 133万円

（基準 :入会目標 + 10店 10万、基準 :入会目標 + 5店 7万、基準 :入会目標 + 2店 5万、  
基準 :目標達成 3万）

・基準 = 大阪 10万、基準 = 京都 7万、基準 = 長崎 5万、基準 = 北海道・神奈川・山梨・  
三重・石川・福井・滋賀・奈良・山口・徳島・香川・福岡・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄 3万……小計 70万  
・会長特別表彰(連覇 V4 = 1万/年数)V18 福岡 = + 15万、V9 滋賀 = + 6万、V8 山梨・京都・奈良・  
長崎・熊本 = + 5万、V6 徳島 = + 3万、V4 福井・鹿児島・沖縄 = + 1万……………小計 52万  
・年間連Q稼働達成 : 北海道・福井・滋賀・京都・奈良・大阪・山口・徳島・福岡・長崎・熊本  
= + 1万……………小計 11万

仲間づくり「入会・増強Wキャンペーン」の表彰 37万円

入賞した以下の23代協を表彰する。

期間入会目標達成 : 北海道・神奈川・山梨・愛知・三重・石川・福井・滋賀・京都・徳島・香川・福岡・長崎・  
宮崎・熊本・鹿児島・沖縄 = (+ 1万)……………小計 17万

年間減少脱却達成 : 岩手・神奈川・静岡・石川・福井・大阪・兵庫・鳥取・山口・香川 = (+ 2万)小計 20万

##### (3)三冠王の表彰（ダイヤモンド三冠は該当なし）

プラチナ三冠 : 福岡・熊本・山梨・神奈川……(5万)

ゴールド三冠 : 福井・京都・滋賀・奈良・徳島・宮崎・石川・鹿児島・沖縄……(4万)

三冠王 : 大阪・長崎・三重・北海道……(3万)……………小計 68万

連覇加算 : 以下の16代協が連覇

大阪・山梨・福井・三重・京都・滋賀・宮崎・福岡・鹿児島・奈良・北海道・石川・徳島・長崎・熊本・沖縄  
= (+ 2万)……………小計 32万

##### 【主な意見等】

- ・現行の表彰金額の基準（ = +20 店、7 万円、 = +10 店、5 万円、 = 目標達成、3 万円）については、時代環境に見合っておらず、改定が必要である。

〔資料 審 4.〕2021 年度の取組みに関する表彰案（P.40）

## 5. 諸規則の改定

- ・事務局より、資料に基づき、旅費規則ならびにプライバシーポリシーの改定案について、審議採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・Web 会議等における日当の明記のため、旅費規則を改定する。
- ・個人情報保護法の改定に伴い、プライバシーポリシーを改定する。

### 【説明内容】

- ・Web 会議等における日当の支払に関して、現行規定では「旅費雑費」のみの規定であるため、実務の運営に合わせて改定が必要である。
- ・プライバシーポリシーに関しては、日本代協の場合は基本的に BtoB のビジネスモデルであるため、詳細までの規定としていなかったが、セミナーや公開講座の受講、相談・問い合わせなどから講師、アドバイザー、一般消費者の情報をもつ状況も出てきていることから、個人情報保護法の改定に合わせた改定が必要である。
- ・提案は一律 1 日 2,000 円であるが、例えば 4 時間までとそれ以上で金額を変える検討をしてもいいのではないかと考えるが、精算時のチェックなどの負荷を軽減するため、当面は提案区分で運営したい。

〔資料 審 5.〕1. 旅費規則改定案（P.41-44）

2. プライバシー・ポリシー改定案（P.45-46）

## 6. 第 11 回日本代協コンベンション PT の活動開始

- ・事務局より、資料に基づき、第 11 回日本代協コンベンション PT の活動開始に当たっての方向性やコンセプトの説明があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から 2 名ずつ選出された 8 名 + 事務局 3 名の PT メンバーで活動を開始する。
- ・年間活動スケジュール案に基づき、関係各所と交渉を進める。

### 【説明内容】

- ・5/11、2022 年度コンベンション PT の初回会議を開催した。東京、神奈川、千葉、埼玉の各代協から 2 名ずつ選出された 8 名 + 事務局 3 名の PT メンバーで始動した。
- ・コンセプトは「代理店の価値向上策を考える」という案が上がっているが、「考える」という表記について再検討中である。基調講演は、昨今、組織運営において関心が高まっている「心理的安全性」を取り上げたいと考え、情報収集中である。分科会は中崎 AD、栗山 AD と代理店 2 名の登壇という形で企画したい。企画案は 7 月の理事会に上程すべく、活動を展開する。

### 【主な意見等】

- ・全 4 分科会を視聴したいとの要望が多いので、昨年同様、オンデマンド配信設営を要望する。

〔資料 審 6.〕2022 年コンベンション PT メンバーならびに PT 活動スケジュール案（P.47-49）

## 〔報告事項〕

- 1 . 2021 年度三冠王獲得状況ならびに 2022 年度「目指せ、三冠王!」の取組項目の目標値
- ・事務局より、資料に基づき、2021 年度三冠王の獲得状況の報告があり、共有された。またコンサルティングコース受講申込者数の目標を除いた 2022 年度の「目指せ、三冠王!」の各項目の目標についても説明があり、共有された。

<三冠王> ダイヤモンド三冠王(6 冠)は該当なし。(三冠王獲得決定日順)

・プラチナ三冠王(5 冠)……福岡(V4)、熊本(V8)、山梨(V8)、神奈川(V1)

・ゴールド三冠王(4 冠)……徳島(V3)、福井(V4)、奈良(V8)、京都(V8)、滋賀(V6)、宮崎(V3)、  
鹿児島(V3)、石川(V3)、沖縄(V3)

・三冠王(3 冠) ……大阪(V3)、長崎(V2)、三重(V3)、北海道(V3)

〔資料 報 1.〕1.2021 年度「目指せ、三冠王!」結果 (P.50)

2.2022 年度「目指せ、三冠王!」各取組項目の目標値 (追加資料 P.21)

## 2 . 前回理事会 (2022.3.10 開催) 以降の主な業務報告

### (1)地区担当理事からの報告等

- ・委員会諮問事項の推進活動に関する所感を中心に報告があり、共有された。
- ・現場の声として、コンサルティングコース Web セミナーの運営スタッフの負担軽減が課題であると認識している。また、日本代協アカデミーの新コンテンツ(含む公的保険関連)には期待が集まっている。仲間づくり推進に関して「長崎・福井モデル」を徹底推進していく。
- ・会長交代にあたり、「任期満了にあたり：振り返って思う事&次年度に向けた思い」シートを提出いただき、各代協の役員、委員や事務局と情報連携した。事務局との対話、連携の重要性を改めて共有した。
- ・実態調査の回答勧奨に注力し、回答率押し上げや組織活性化に貢献できたと自負している。
- ・(地域柄があるのか)不正募集対応に関するやりとりが特に多いが、目標達成に向けては各代協の意識は高く、一体感をもって取組みが進められている。
- ・各委員会の取組みについて、答申を聞いて改めて頭が下がる思いである。周知、活用推進に注力する。特に「各地の組織委員会への日本代協組織委員会正副委員長の Web 参加」の展開により、回を重ねるごとに情報と熱が伝わることを体感した。取組みに感謝したい。
- ・福井では、7月1日から福井県自転車条例が施行されることになった。県は相談窓口を福井県代協に置くことを決定し、代協の連絡先が入った案内が作成されている。小中高生に対しての安全運転教育も進めてほしいと代協推進のお墨付きをいただいた。出前授業も5校が決定している。(新聞、ホームページを参照)
- ・答申案の審議を経て、地域担当として十分に取組みしていない項目が確認できた。各代協の会長等と肌感覚で対話を重ね、活性化につなげていく。  
また、Emotet 対策として、代協としてのサイバー保険の加入を急ぐ必要がある。卑近な事例をみても PC1 台の状況調査にも 150~180 万円の費用がかかる。各代協では加入を早急に検討いただきたい。

〔地区別委員会別資料.〕各ブロックアクションシート(地域別委員会別資料 P.1-29、追加資料 P.19-20)

## (2) 監査実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、監査実施報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・2022年5月12日(木)業務監査が行われた。(白石監事、津田監事、南久松公認会計士が参加)
- ・事業報告に関しては、「2022年度通常総会招集のご通知(案)」にて報告を行った。
- ・期末決算会計監査では、特に問題となるような点の指摘はなかった。
- ・業務執行に関し、監事から特別な指摘事項はなかったが、以下のような質疑応答があった。

損保大学課程に関する計上について

南久松公認会計士から「収益認識基準」について、以下の話があった。「損保大学課程受託料、同運営費について、収入・支出に別々に計上しているが、差額分のみを手数料収入という形で計上する方法もあるのではないか？」

### (執行理事見解)

損保協会から日本代協が事業の受託を全面的に受けている形態であり、現状どおり収入・支出別に計上した方が事業の実態を正確に反映していることになる。また、当年度の運営費は、前年度に計上される受講料収入で賄われる(2022年度受講生分の受講料収入は2021年度に計上)という構造であることから、日本代協が受け取る手数料は、受講者人数にかかわらず一定であるにもかかわらず、手数料収入だけの計上では年度の人数の違いによって変動してしまうので、収入・支出別に計上した方が実態どおりとなる。

事業の見直しと会議の合理化

事業のテーマが総花的になっているので、選択と集中を考えても良いのではないか？また、会議時間も長いので、結果を残すことにフォーカスし、合理化とスリム化を検討してはどうか？

### (執行理事見解)

「代協の魅力向上」という観点で取り組んできているが、十分に浸透できていない部分もあるので、スクラップ&ビルドで事業を進めていく。会議については、全国からメンバーが集まるリアル会議を前提に進めてきたため、「フルに時間をとる」という考え方だったが、WEB活用も進んできたので効率化を図っていきたい。

代理店経営サポートデスクについて

認知度が高まり、活用が進んでいくことを楽しみにしている。

〔資料 審1.〕 2022年度通常総会提案議案「2021年度日本代協事業報告&決算報告」(P.1-38)

## (3) 「仲間づくり推進(正会員増強運動)」3月末状況・4月末状況

- ・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の3月末状況及び4月末状況について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・会員数は対前年度 250店で総計11,094店と減店。331店の入会に対して581店の退会(内74.9%に当たる435店が合併・統廃合による退会)だった。
- ・代申社別では、共栄+5店、日新+2店と増店したが、損保ジャパン 100店、東海日動 93店、三井住友 37店、あいおい 12店、AIG 9店、楽天 4店、大同 3店と多くは減店となった。



- ・換算組織率 70%超代協：香川 81.1%、京都 79.4%、徳島 76.9%、鳥取 73.4%、奈良 72.5%、滋賀 71.9%と 6 代協が 70%を超えた。
- ・4 月末：入会 30 店、退会 44 店（内合併等は 81.2%となる 36 店）合計 14 店で合計 11,080 店となった。
- ・香川 2 店/目標 3 店 = 66.7%、青森 2 店/目標 6 店 = 33.3%、群馬 3 店/目標 9 店 = 33.3%、奈良 1 店/目標 3 店 = 33.3%と好スタート。
- ・代申社別では SJ 5 店、AD 4 店、MS 3 店、TN・日新 2 店の減店に対して、AIG・共栄・大同は 1 店増店した。

〔資料 報 2.〕 1. 「仲間づくり推進」3 月分 1. 代協別、2. 代申社別（P.52-53）  
 2. 「仲間づくり推進」4 月分 1. 代協別、2. 代申社別（追加資料 P.22-23）

#### （ 4 ）損害保険大学課程各コースの認定状況等

- ・事務局より、資料に基づき、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

##### 【主な内容】

##### 損害保険トータルプランナーの認定状況等

3 月末時点	損害保険トータルプランナー	18,437 名（ + 104 名）
	認定有効者数	15,718 名（ + 16 名）
	代理店検索機能登録	4,320 店（ 11 店）
	損害保険プランナー	91,611 名（ + 282 名）
	有効認定者数	73,174 名（ ± 313 名）
	ゴールドカード保有者	7,668 名（ + 39 名）

〔資料 報 3.〕 損保トータルプランナー認定状況等 3 月末状況（P.54-56）

#### （ 5 ）代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、「代理店経営サポートデスク」の対応状況について説明があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・2019 年 7 月開設以来寄せられた相談は累計で 206 件となった。代理店合併・事業承継 54 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 58 件、代理店労務管理 35 件、代理店経営全般 37 件、体制整備等 22 件となっている。
- ・実態調査におけるサポートデスクの認知度は 22.2%という状況であり、更なる周知が必要である。
- ・白ナンバーのアルコールチェックの義務化対応については、他からの情報が入らなかったようで問い合わせが殺到した。アルコールチェックをしないと起動しないフリート向けの運行管理アプリを準備している企業もあるので、今後情報提供していく。

〔資料 報 4.〕 1. 「代理店経営サポートデスク」経営相談対応事案（P.57）  
 2. 「代理店経営サポートデスク」経営相談分類整理（P.58）

### 3 . その他

## (1) 業界最新情報

・事務局より、業界最新情報に関する報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

#### 4/28 金融庁と代協会長との意見交換会

4/28(火)14時~16時 日本代協会議室に金融庁池田保険課長、西川専門官、稲田係長に來会いただき、Zoom ミーティングにて47都道府県代協会長との意見交換会を開催した。47都道府県代協会長、日本代協役員・政治連盟役員・事務局28名、合計75名が参加した。議事録案を作成し、現在、当局に内容確認いただいている。当局としては、個別案件を除き、行政として気付いたことについて6月もしくは9月に開催予定の業界との意見交換会の場で、また並行して各保険会社の経営企画部門に伝えるとのことである。

今回の意見交換会は、当局の要請もあり、テーマを絞らないフリーな討論の形式としたが、個別案件まで含め、質問を受け止めてすべてに回答していただけることは稀なことであるため、今後の開催形式については検討が必要である。

#### 金融庁の公的保険ポータルサイト

金融庁の監督指針の改定が行われ、募集人に説明を求めるにあたり、国としての下支えをするために当局サイドで作成したサイトである。一般の方に知らしめる内容であるので、募集人は内容を確認する必要がある。また年金の試算ができる年金シミュレーター(厚労省)にもリンクしているので確認いただきたい。高校生のための金融リテラシー講座も高い評価を得ている様子である。こちらも内容を把握し、活用いただく必要がある。

#### 業界団体との意見交換会において金融庁が提起した主な論点

2月17日開催分の内容が4月に金融庁ホームページに公開された。

2. ビジネスモデル対話、4. 自然災害、9. サイバーセキュリティ対策の強化、10. サステイナブルファイナンスの取組みについて、添付資料を参照いただきたい。

#### 損保協会長ステートメント(3月17日)

(1) 気候変動に関する取組みの中で、自然災害リスクへの対応強化、適正な保険金支払いに向けた取組み、勉強会開催等、(2) 非対面・非接触・ペーパーレスの推進、(3) リスクへの備えの一段の強化、(4) 高校生を中心とした損害保険リテラシー向上、その他募集人品質を支える取組みについて報告された。

自賠償のクレカ払いは2024年度の時期的には2025年1月頃の実現する見込みである。

#### 自賠償保険料収納済印等の廃止

自賠償損害賠償責任保障法施行規則の改正により、保険料収納済印等の押印が法令上不要となったことを受け、保険料収納済印を廃止することになった。扱い者印を押印しない場合は、代理店の商号・名称または氏名を記入する。

#### 業界関連動向

P.85 白ナンバーアルコールチェック義務化、P.86 火災保険料11-13%値上げ、水害保険料 リスク別へ 個人向け最大1.5倍の差も、P.87 金融庁 顧客本位原則取組み方針 公表 事業者リスト更新、P.89QR 決済 公取 実態調査へ 手数料高止まり懸念等について解説があった。

当局内では、「顧客本位の業務運営」は想定通りに推進できていないと総括しており、諸施策を検討中のようなのである。

〔資料 報 5.〕1.金融庁公的保険ポータルサイト (P.59-62)

<https://www.fsa.go.jp/ordinary/insurance-portal.html>

2.金融庁\_業界団体との意見交換において提起した主な論点 0217 (P.63-75)

<https://www.fsa.go.jp/common/ronten/202202/05.pdf>

3.金融庁\_パブコメ\_大規模代理店の事業報告書様式の改正 (5/12[木]17時)

<https://www.fsa.go.jp/news/r3/hoken/20220412/20220412.html>

4.協会長ステートメント 0317 (P.76-82)

[https://www.sonpo.or.jp/news/release/2021/2203\\_03.html](https://www.sonpo.or.jp/news/release/2021/2203_03.html)

5.募集人教育サイト-損保協会 (P.83)

<https://www.sonpo-dairiten.jp/education/index.html>

6.自賠責収納済印等の廃止 (P.84)

7.業界関連情報 43, 44 (P.85-90)

8.月刊社労士\_保険代理店連携 (P.91-92)

9.損保労連 LINE アカウント登録 (P.93)

## (2) その他

- ・事務局より、資料に基づき、業界紙掲載情報等について報告があり、確認、共有された。

RING の会オープンセミナー：6月18日「NEXT MOVE」

防災ライト「アクモキャンドル」：代協会員価格での提供で提携

事務局の移転：現在入居している新有楽町ビルが建て替えのため2023年9月までに

移転する必要がある。移転諸費用の一部を肩代わりしてもらえる三菱地所に候補先

の提案をお願いしている。現在の事務局の近くで、賃料が現行より減額される候補先

について検討する。

〔資料 報 6.〕1.都道府県代協総会対応状況 (P.94)

2.0404 新日本\_代理店価値向上研究会 (P.95)

3.0411 新日本\_岩崎邦彦セミナー (P.96)

4.0412 保毎\_損保ジャパン白川社長紹介 (P.97)

5.0413 保毎\_日本代協臨時総会 (P.98)

6.0419 保毎\_生保協会業務品質 (P.99)

7.0421 保毎\_SOMPOHD 奥村社長紹介 (P.100)

8.RING の会\_2022 プログラム (P.101-102)

9.防災グッズ「アクモキャンドル」(P.103-108)

10.令和4年3月末 JCM 実績報告 (P.109-111)

## 〔監事講評〕

白石監事から以下の通り、監事講評があった。

本日の理事会では審議事項、報告事項ともに適正な運営がなされ、熱心な討議がなされたものと判断する。

何点がコメントする。

- ・代協の重要取組事項の一つである「仲間づくり推進」について

全体では533店の入会目標に対して331店の入会実績と約62%の達成率に終わったが、目標達成が18代協ある一方で29代協は未達成であったとこのことで、目標達成した代協の取組みを参考事例として取組方式や有益情報を共有し、効果的な加入推進活動につなげていただきたい。With コロナで活動にも負荷がかかるが、3年連続で会員数が減少していることは明白な事実であるので、一層の取組強化を期待する。

- ・一方で「代協正会員実態調査」の取組に関しては、理事の方々の熱心な取組みにより、各ブ

ロックともに努力目標を突破し、全体では63.7%という素晴らしい成果を上げ、7,115件という業界でも貴重なデータ量を集めた。この調査結果を活かして代協の活動の一層の活性化につながると期待している。

- ・代理店の募集人の資質向上を目的に損保大学課程コンサルティングコースの受講者の募集推進をしているが、Webを活用した受講勧奨を展開した結果、前年度とほぼ同数の1,231名を集めることができ、代協会員比率は77%と昨年の70%を大きく上回る成果を上げたことは秀逸な結果と判断する。今後も代協として受講勧奨を加速し、お客さまに対して満足の高いサービスを提供できる保険のプロフェッショナルを一人でも多く育成していくことが、この業界の明るい未来と健全な発展につながるものと考えている。

以上

< 諸会議開催予定 >

2022年5月～2022年11月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2022年度	5月6日(金)	10:00～11:30	資格審査委員会(Web委員会)	Web会議
	5月13日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	リアルまたはWebHB会議
		13:00～17:00	第1回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
	6月13日(月)	13:00～17:00	正副会長打合せ	リアルまたはWebHB会議 日本代協 会議室
	6月14日(火)	10:00～	通常総会 理事会 政連臨時代議員会 会長懇談会	リアルまたはWebHB会議 損保会館2F大会議室または日本代協会議室
	6月15日(水)	9:30～16:00	新任会長オリエンテーション	リアルまたはWebHB会議 損保会館もしくは有楽町リファレンスまたは日本代協会議室
		9:30～12:30	新体制理事打合せ	
	7月1日(金)	15:30～17:30	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長)	日本代協 会議室
		17:45～20:00	懇親会	会場 未定
	7月7日(木)	16:00～17:30	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長)	日本代協 会議室
		17:45～20:00	懇親会	会場 未定
	7月8日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室 (懇親会 無)
		13:00～17:00	第3回理事会 テーマ:通常議題	
	7月21日(木)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり
17:45～20:00		懇親会		
9月8日(木)	10:30～12:00	正副会長打合せ	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催	
	13:00～17:00	第4回理事会 テーマ:通常議題		
9月9日(金)	11:00～17:00	第1回ブロック長懇談会	リアル:損保会館 大会議室 またはWEB会議Zoom開催 会場 未定	
	17:00～18:00	特別セミナー		
	18:20～19:30	同上懇親会(有志・会費制)		
10月14日(金)	9:30～10:45	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室	
	11:00～17:00	第5回理事会 テーマ:通常議題		
11月18日(金)	13:00～20:00	第11回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場	
11月19日(土)	10:00～12:00	第11回日本代協コンベンション分科会	損保会館、近隣施設	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時53分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2022年5月13日

議長                      会 長                      金 子   智 明                      印

議事録署名人      監 事                      白 石   雅 一                      印

議事録署名人      監 事                      津 田   文 雄                      印